

全国英語教育学会 令和4年度第1回理事会議事録

■日時：令和4年3月20日（日）13時00分—15時45分

■場所：オンライン

■出席者：

深澤清治（会長）、里井久輝（副会長、会長代行）、斉田智里（副会長）、久保田佳克（副会長、理事・東北）、笠原究（理事・北海道）、志村昭暢（理事・北海道）、佐藤博晴（理事・東北）、西垣知佳子（理事・関甲信）、加藤茂夫（理事・関甲信）、田中武夫（理事・中部）、泉恵美子（理事・関西）、横川博一（理事・関西）、高橋俊章（理事・中国）、猫田英伸（理事・中国）、齋藤嘉則（理事・四国）、長崎政浩（理事・四国）、中村典生（理事・九州）、石原知英（理事・九州）、

<以下、オブザーバー>

宮迫靖静（紀要編集委員長）、三ツ木真実（幹事・北海道）、臼倉美里（幹事・関甲信）、滝沢雄一（幹事・中部）、橋本健一（幹事・関西）、猫田和明（幹事・中国）、水野康一（幹事・四国）、麻生雄治（幹事・九州）、鬼田崇作（事務局長）、山内優佳（事務局長補佐）、篠村恭子（財務部副部長）、大下晴美（財務部副部長）、森好紳（学生支援部部長）

- ・ 議題の審議に先立ち、深澤会長の挨拶が行われた。
- ・ 酒井理事（田中理事代読）より、2021年度長野研究大会開催の報告とお礼のあいさつがあった。
- ・ 出席者の自己紹介が行われた。

■議題：

1) 令和4年度新役員（案）（資料1）

- ・ 鬼田事務局長より、資料1にもとづき、新役員名簿が確認され、審議の末、一部修正の上承認された。
- ・ 各地区の会員数、地区大会の情報が確認された。

2) 第47回北海道研究大会実施要綱（案）（画面共有資料）

- ・ 資料にもとづき、志村研究大会事務局長より説明があり、審議の末、原案のとおり承認された。
 - ▶ 2022年8月6・7日に、北海道科学大学を実行委員会本部とし、オンライン開催される。
 - ▶ 協賛について、昨年度同様に、要綱集の広告、ブースの設置、発表の合間に賛助会員動画の提示ができるようにする。4月の中旬に賛助会員に案内を出せるよう、大会実行委員と財務部で情報を共有する。

3) 令和3年度決算（案）（資料2）

- ・ 資料2にもとづき、猫田財務部長より説明があり、審議の末、原案のとおり承認された。

4) 令和4年度予算（案）（資料3）

- ・ 資料3にもとづき、猫田財務部長より予算案が示され、審議の末、原案のとおり承認された。

5) 第 48 回四国地区研究大会実施要綱（経過報告）（資料 4）

- ・ 資料 4 にもとづき、水野幹事より第 48 回香川研究大会について経過報告があり、審議の末、原案のとおり承認された。
 - ▶ 開催日：2023 年 8 月 19・20 日。前日に紀要編集委員会と理事会が予定されている。
 - ▶ 実施方式：可能な限り対面で実施できるよう、教室は仮押さえするなど準備している。

6) 次期会長選挙について（資料 5）

- ・ 資料 5 にもとづき、深澤会長より、次期会長選挙について説明があった。
- ・ 選挙管理委員会の発足について、及び第 2 回理事会がオンライン開催された場合の実施方法について審議され、原案のとおり承認された。

7) 全国英語教育学会紀要 ARELE 33 号の編集について（資料 6）

- ・ 資料 6 にもとづき、宮迫紀要編集委員長より査読・編集結果の報告があり、原案のとおり承認された。

8) 全国英語教育学会・学会賞（案）（資料 7, 8, 9）

- ・ 資料 7 にもとづき、猫田紀要編集事務局長より、学会賞の候補者が提案され、審議の末、原案のとおり承認された。
- ・ 猫田紀要編集事務局長より、ARELE の投稿規定英語版について、資料 8（別途資料 C）のとおり提案された。内容の詳細は継続審議とし、修正事項等があれば第 2 回理事会までに猫田事務局長に連絡することとなった。
- ・ 資料 9（別途資料 D）にもとづき、猫田紀要編集事務局長より JaLC（Japan Link Center）メタデータオープン化について説明され、審議の末、原案のとおり承認された。

9) 事務局内各部における活動について（経過報告）

○財務部（資料 10）

- ・ 資料 10 にもとづき、猫田財務部部長より活動報告があった。

○研究／大会企画部（資料 11）

- ・ 画面共有の資料にもとづき、長崎研究／大会企画部部長より活動報告があった。
- ・ 資料 11 にもとづき、関東甲信越地区から次年度 3 月実施の英語教育セミナーの申請が来ていることが報告された。

○広報／通信部（資料 12）

- ・ 資料 12 にもとづき、石井広報／通信部長（鬼田事務局長代読）より、大会情報の掲載・送付について報告があった。

○学生支援部（資料 13）

- ・ 資料 13 にもとづき、森学生支援部部長より、活動報告があった。

10) 学会 50 周年記念事業について (資料 14)

- ・ 資料 14 にもとづき、深澤会長より記念事業について説明があり、審議の末、原案のとおり承認された。出版社や、編集の詳細について等、WG メンバーにより継続検討されることとなった。

■ 報告事項 :

1) 英語教育セミナーの開催について (資料 15)

- ・ 資料 15 にもとづき、長崎研究/大会企画部部長より、関西英語教育学会実施のセミナーについて、参加者が約 80 名、うち中高教員が 25%であり、参加者からは好意的な反応が得られたとの報告があった。

2) 言語系学会連合意見交換会について (資料 16)

- ・ 深澤会長が出席した言語系学会連合意見交換会について、資料 16 にもとづき、鬼田事務局長より報告があった。関東甲信越教育学会月例研究会が共催事業として実施されたことが確認された。

3) 言語系学会連合共催事業 (資料 17)

- ・ 資料 17 にもとづき、鬼田事務局長より関東甲信越英語教育学会が開催する 2022 年 10 月の月例研究会について、言語系学会に共催申請が行われたことが報告された。

4) 教育関連学会連絡協議会への加盟について (資料 18)

- ・ 資料 18 にもとづき、鬼田事務局長より教育関連学会連絡協議会の総会について報告された。総会中に全国英語教育学会の加盟が承認された。

5) 教科教育学コンソーシアムへの加盟について (資料なし)

- ・ 2021 年 9 月 11 日の第 1 回理事会で加盟が承認されたことについて、鬼田事務局長より報告された。
- ・ 紀要編集委員として深澤会長、研究推進委員として今井裕之先生 (関西大学) が任命された。